

議 事 録

会議名	平成28年度第1回寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定等外部委員会		
開催日時	平成28年7月21日（木）午前10時00分から午後0時20分		
開催場所	寒川町消防庁舎 3階 講堂		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<p>&lt; 委員 &gt;                  梅村仁（委員長）、近藤祐幸（副委員長）、田中雄介、大谷勝彦、金子一茂、伊與田能輝、鈴木潔、太田良勝、松島幸司、豊田敏樹、西郷公子、糸野靖男、牧戸雅子</p> <p>（欠席者）                  豊田大知、前田久子</p> <p>&lt; 事務局 &gt;                  企画政策部長：深澤文武、企画政策課長：高橋陽一、企画行革担当副主幹：青木裕昭、同主査：吉田慎也、三澤忠広、同主任主事：三澤功一、赤崎平</p> <p>&lt; 事業担当課 &gt;                  危機管理課長：田中弘文、子ども青少年課長：宮崎彰夫、健康・スポーツ課長：亀井正人、産業振興課長：大川修、都市計画課長：小林正直、教育総務課長：長岡賢一、学校教育課長：花山尚人、寒川総合図書館長：柄澤博、協働文化推進課主任主事：越原啓介</p> <p>※ 傍聴者4名</p>		
議 題	(1) 平成27年度実施の地方創生先行型事業の検証について (2) 総合戦略事業における平成28年度スケジュールについて		
決定事項	議事- (1)平成27年度実施の地方創生先行型事業の検証について 【事務局から内容説明し、委員から別添のとおり各種意見等あり】 議事- (2) 総合戦略事業における平成28年度スケジュールについて 【事務局から内容説明】		
公開又は非		非公開の場合その	

公開の別	公開	理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<p>○開会 議事までの間、深澤部長が司会進行</p> <p>○議題（議事進行：梅村委員長） （梅村委員長）議題に入ります前に、今回の議事録承認委員の確認についてですが、承認委員については、「名簿順」ということになっております。今回は私になりますので、よろしくお願いします。 それでは、議事を進めてまいります。 議題（1）平成27年度実施の地方創生先行型事業の検証について事務局から説明をお願いします。</p> <p>&lt;事務局から平成27年度実施の地方創生先行型事業の検証について概要を説明&gt; 資料1：人口減少社会の克服に向けて 資料2：総合戦略 取り組み状況点検シート</p> <p>（梅村委員長）説明が終わりました。皆様から疑問点、意見などございましたらお願いします。特にないようでしたら進めて参ります。本日は6つの事業がございますので、1つあたり事業の説明に5分ほど、質疑応答と評価に10分となっております。自治体によって違うんですけど、チェックとして、K P I に対する事業の効果が有効であった、なかった。内部評価に対する評価、適当である、適当ではないというのは、委員会の総合的な意見としてまとめた方がよろしいですね。</p> <p>（事務局）そのようにお願いします。</p> <p>（梅村委員長）評価については、法律等で決まりがありますか。</p> <p>（事務局）特に決まりはございません。</p> <p>（梅村委員長）寒川町は委員会での総合的な意見ということですね。 それでは、観光振興推進事業からお願いをします。</p> <p>&lt;事業担当課から観光振興推進事業について概要を説明&gt;</p> <p>（梅村委員長）今回初めて委員会に参加される委員もいらっしゃるのです、K P I の説明をしていただけるのでしょうか。</p> <p>（事務局）K P I ですが、総合戦略の施策ごとに重要業績評価指標として目指</p>		

すべき数値を設定しております。資料番号3の寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略体系図をご覧ください。3列目に総合戦略事業がありまして、戦略ごとにその中の事業を行ってどういったものを目指していくのかを数値目標を設定して管理をしていくものでございます。設定するものにつきましては、基本的にはアウトカム指標を設定しております。どういった効果を狙うのかを数値指標として設定しております。アウトカム指標で設定できないものは、アウトプット指標としてどんなことをやったかを設定しているものもございますが、基本的にどういう効果を目指すかというものを数値化したものでございます。

(梅村委員長) Key Performance Indicator の略称ですね。総合戦略を全国でつくっているんですけども、これは国の方で示しなさいとなっています。地方創生の売りとしてK P Iと言っております。この辺は少し重視して進めて行きたいと思います。

ご説明が終わりましたので、観光振興推進事業につきまして、ご質問、ご意見等をお願いします。

(鈴木委員) K P I でわいわい市への来場者数の3分の1を加算したと書いてありますが、わいわい市のお客さんを見ると、寒川神社に見えられた方で直売所に寄ってくださるが、3分の1がそういう人たちなのか。観光事業ということで、観光協会の副会長をやらせてもらっている立場上、もっと観光客を誘致したいと思うんですけど、東参道構想などの取り組みなどが今回の中には入っていないので、そういうところをもう少し打ち出していただけたらと思います。

(梅村委員長) 次のことも含めての意見ですが、お答えはできますか。

(事業担当課) 実績値の207万人の内訳は、寒川神社の参拝客数、寒川びつちりまつり、彼岸花まつり、寒川みんなの花火、神輿まつり、わいわい市です。新たに増やす取り組みについては、観光協会さんと検討して参ります。

(事務局) 総合戦略の施策として観光振興推進事業につきましては、魅力的な観光地とするために、寒川神社を核とした新たな観光拠点に係る検討も同時に進めて行くものです。各種イベントやわいわい市の来場者数を総合的に捉えながら魅力的な観光地となるように進めております。期待する成果としてK P Iを設定しております。ひとつひとつを断片的に捉えるのではなく、総合的に施策として総合戦略に位置付けて進めて参りたいと思っております。

(梅村委員長) 今回の評価は、地方創生の先行型事業なので、観光事業では3つですが、これから進めて行く事業は他にも沢山出てくると思いますが、

まず最初の3つということで評価をいただきたいと考えています。

(金子委員) 商工会も観光事業の推進では、事業展開をしている所ですが、観光リーフレットや案内板の設置等は、今までと比べれば一歩進んだと思いますが、単発のイベントで観光客が増えたと捉えて事業を展開しているのか、大型バスが乗り入れできて、食事も休憩も宿泊もできる本当の意味での観光客を呼び込む事業展開が図られていないと思うんです。びっちよりまつりや神輿まつりにしても年々にぎやかになってきていると思うんですが、実際には町内の方々が大半を占めており、観光客が増えたとはいえないのではないのかなと。寒川神社の三ヶ日は人は多かったですけど、それ以外の日にぎわいがあるかという、感じないのが現状なんです。もう少し思い切ったことをやっていかないと、寒川神社だけで観光客を呼び込むことは厳しいのではないのかなと、商工会でも危惧していて、観光協会さんと寒川神社さんとJAさんと進めているところですけど、この会議でも取り上げていただけると先に進んでいくと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

(梅村委員長) イベント型だけではなく、総合的に観光振興を進めていくことについてはどうかとのことですが、いかがでしょうか。

(事務局) 現状としては単発のイベントだけですが、地方創生の大きな取り組みは、寒川町の認知度を上げつつ定住していただく方をいかに増やしていくことで人口減少に歯止めをかけていくかということも大きな目的でございます。施策としては、基本目標2の「さむかわを知ってもらい、新しい人の流れをつくります」では、観光だけではなく、タウンセールス推進事業でいかに寒川を知ってもらうかを構成事業の1つとしています。こちらにつきましては、今年度戦略を立てまして、来年度以降寒川をプロモーションしていくことを一つの柱としておりますので、知ってもらいつつ実際に寒川に来てもらい、寒川神社やわいわい市や各種団体との協働のイベントなどを体験していただきながら、いかに寒川に移り住んでいただくかということを目指しておりますので、ご意見のとおり単発で考えるのではなく、本来の目的を達成するためにどういった手段が有効なのかを考え進めて参りたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

(桑野委員) 寒川神社185万人とありますが、毎年変動があまりないのかどうかと、参拝者が電車と車で、来られる方はどういう割合でしょうか。インターの出入口に看板を設置したことはこれでいいのですが、電車で来る人が大半であれば、方向が間違っていることもあるのではないかということが気になりました。新しくインターができたのでそれはそれでいいとは思いますが、内訳が気になりました。

(事業担当課) 寒川神社の参拝客数は毎年180万人から190万人の間で推移していると聞いております。電車と車の比率については、把握しておりません。平日に来られる方は、車が多いのではないかと実感しております。

(西郷委員) 3つの事業と目標値がリンクしているかがはっきり分らないところがあります。全く効果がなかったとは言いませんが、圏央道が開通して寒川神社に関心が高いので沢山来たとのイメージを持ちました。3つだけをここに上げるのは、ぴんとはきていないところがあります。ネットなどについて、ここに上がってこないことに疑問に思い質問にも出しているのですが、あるものをもっと打ち出す、あるもので認知度を高めるという意味で、ホームページを拝見していても弱いという感じを持っていて、せっかくリーフレットをつくったのであれば、ホームページからダイレクトにいけるような、モバイルでもいけるような、打ち出しを日々することの方がいいのではないのでしょうか。平塚のわいわい市のようなところは、イチゴ狩りがすごいらしいのですが、そこに行けばイチゴ狩りできる農家をアナログで紹介してくれる窓口もありますし、ネットで探すとイチゴ狩りが前面に出てくるような、そういうことを入れていただきたいと思ったところです。

(鈴木委員) 観光協会としてこれからホームページを変えていこうということで、今言われたように検索したときに、いろいろ波及するものをこれからつくっていく取り組みを進めて行くことを役員会で決定しました。

(西郷委員) 全体に弱い感じがします。せっかくマップをつくったなら、マップにすぐいけるように載せたりしている所もあるので、アナログでつくったものでも、ネットで見られれば見てくれる人もいると思うので、ホームページで素早く打ち出していくことを、もう少しされたほうがいいのではないのでしょうか。そういうのも目標に入れていただきたいという気持ちもあります。

(太田委員) いろいろお話しを伺っていてそのとおりでなと思います。事務局としては先行型事業として時間が無い中で計画をつくって、これだけはずぐやろうという話で、次に行こうというときに、先行型事業は先行型事業として、改善して、評価して外部委員会でやればいいのかと思うんですけど、いただいた意見が貴重で、これから再生計画をつくって行かれる時には、先行型事業の評価の中で見えてきた、次に向かっての課題として捉えていただいて、この場でご意見をいただいたことは的を得ているお話しだと聞いていましたので、それは大事にしていきたい。それとまた、先行的にやった、例えばリーフレットをつくる事業の狙いがあるって、それを行って、実際どうだったかという評価をそれはそれでさせていただければと思

います。

(事務局) 委員から事前にいただいたご質問について、お配りした資料の中の観光振興推進事業でネットの活用についてご指摘いただいたご質問をいただいております。SNSが発達して特に若い方々はそこで情報を得るということで、現状としましては、町、観光協会にホームページはあるんですけども、ただつくればいいというものではないと思いますので、目的をかなえるためにいかにダイレクトにほしい情報がこういった手段で得られるかということが、問われているところだと思いますので、いただいた意見を踏まえまして、今後に向けてネットのいい面をいかして寒川を知ってもらうということを行って参りたいと考えています。

(梅村委員長) 今日は6つの事業の説明と評価があるんですが、様々な声が出ております。ここで全部集約するのは難しいので、この後皆様にお諮りするの、KPIに対して事業の効果が有効であったかどうか、内部評価に対する評価が適当であるかどうかは、委員会として総合的な意見として決めさせていただいて、出た意見は意見としてまとめていただいて、各委員にお配りしていただくと。取り組みの改善は、寒川町が書くことでよろしいですね。意見について今後どうなりますか。

(事務局) いただきました意見を内部委員会で、どういう改善をしていくかを決めさせていただいて、公表していくことを考えています。

(梅村委員長) 外部委員会からの意見は、後ほど全委員に配付していただいて確認していただくということでいいですか。

(事務局) 第2回目の外部委員会を8月23日に開催する予定でおります。その段階では、いただいた意見を取りまとめ、内部委員会をへて町の検証として確定したものを第2回の外部委員会にご提示する予定でおります。

(梅村委員長) そこでもう一度確認するということがよろしいですね。

他に観光振興推進事業についてご意見等ございますか。

(金子委員) 先日の神輿まつりでは、人も来ててよかったのですが、あの日は暑くて会場的にも手狭で、そこでやらなければいけない意味があるのかなのかはあると思いますが、中央公園のような広いところで、芝生のところで4基が練り歩くようなことも内部で諮っていただければと意見として思います。

(田中委員) 観光をPRすることに対して、寒川神社に頼りきっているところがあるのかなという感じがするんです。そうだとすると三ヶ日は参拝の方が沢山いらっしゃるんですけど、駐車場の経営体制ができていないので、各団体や企業に協力してもらって、駐車場を出してもらえともう少し参拝客が増えてくるのかなと。ナンバーを見ると県外から来られている方も

いらっしゃるので、駐車場がないと来なくなってしまう心配もあるのでその辺を考慮していただきたい。神輿まつりに関しては、今後の取り組みでさらに盛大に安全に開催できるようにということなんですけど、この間の神輿まつりですと、神輿が駅前公園に到着してお祓いを受けてすぐ出発になってしまうので、来場者が神輿に触れる時間や一緒に写真を取れる時間がかかなり少なかったのも、できればそういう時間をもっと長く取れるようなスケジュールにしていいただければ。また担ぎ手がすごく少なくなっているんです。担ぎ手を増やしていただきたいので、一般の方々にも担ぐ時間をもうけていただければなと思います。

(事務局) 会場も手狭ですし日も避けることもままならない状況でした。委員からありましたように、御神輿に触れるという場がありませんでした。担いでいるときの甚句も素晴らしいものだと思いますので、いろいろな入り口があると思いますけど、甚句を一緒に歌ってみるとか実際に担いでみるとかそういう時間、工夫があった方がよりよいと思います。会場の面も含めまして、担当課、実行委員会等と協議してよりよくしてまいりたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

(近藤副委員長) 観光産業として何にスポットを当ててどうPRするかというところが一番大きなところと思っております。カーネーション、スイトピー、メロン、梨があり、インター出入口に大きな看板を設置されたことに、つけたんだと、びっくりしたんですけど、少し残念なのは、その周辺に草が覆い被さっていて、そこを右折していく道路沿いにも草が生えていて、ようやく体育館の周辺に来てきれいに花が植わっている状況があります。玄関口はきれいな方が印象がいいですし、観光地にいろいろ行きますが、インターを降りたところで、どんな特徴があるのかという看板というのは、非常に重要だと思います。花、梨、メロンや浜降際、びっちょりまつりのイベントなどアピールされているのであれば、看板を設置してもいいのではないかと思います。また、ドライブをしていて寄りたいところは道の駅です。道の駅の名前に惹かれます。その代わりがわいわい市だと思えますけど、いろいろ飲食ができたり、もう少し広く、隣接したところでバーベキューができたり、買ったものがそこで食べられるとか、ドッグランを併設して犬を連れてきた人が遊べるなど、拠点化を積極的に取り組んだほうがよいのではないかと思います。来てくれる人任せのようなところが少し感じる場所があります。この間ヤフーのニュースでも寒川のメロンが取り上げられていて、希少な種類だということで、私もそれを見て初めて知ったんですけども、そういうのも町民の方もあまり知らないのかなと思います。寒川神社にしても今年ナンバーワンのパワースポットに選ばれ

たという情報もネットで見たりしまして、そういうところも取り込んでいくのも一つの戦略かなと思います。いい資源はいっぱいありますので、積極的に活用していけばよりよくなるのではないかと思います。

(事務局) いろいろないい面があるのですが、掘り起こされていないものや、掘り起こしているけどもうまい発信ができていないなど、寒川はすごくいいところですが、知っていただくことが下手だと言われておりますので、いただいたご意見を踏まえまして、いいものをかたちにつなげていく工夫をして参りたいと思います。看板の周りの草についても、おもてなしという気持ちから言えば、いろいろな方に協力をいただくなどやり方はあると思います。

(近藤副委員長) フェンスに囲まれた看板では無機質なイメージをうけますので、花壇をつくるなど、花の町に来たと思えるような工夫をされたほうがよいと思います。

(梅村委員長) 今回は先行型事業を整理してその評価となります。様々な意見が出ておりますが、それが町の役割なのか、地方創生なので町全体のいろいろな主体がありますから、その役割などもどこかで整理していく必要があるのかなと思いました。

それではK P Iに対する事業の効果について、観光入込客数が現状値187万人から目標215万人に向けて、実績が207万人になって増えています。評価としては数的には有効であったと言えるのではないかと考えております。よろしいでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) 続きまして、内部評価に対する評価でございます。内部評価は要改善になっております。今後の取り組みの中で、先ほどからご意見が出ておりますので、適当ではある、適当ではない、となりますと、適当ではあるけれども、外部委員からの意見を入れていただくのが望ましいのかなと考えております。よろしいでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) そういったかたちで事務局でまとめておいてください。

続きまして2つ目の、子育て世帯防災安心対策事業でございます。説明をお願いします。

<事業担当課から子育て世帯防災安心対策事業について概要を説明>

(梅村委員長) ご意見ご質問等ございましたらご発言をお願い致します。

(西郷委員) 講習会のやり方で、保育園を使った講習会は効果があると思いま

すけど、乳幼児などは、健康診断などやらなければいけない場があると思うんですけど、そういう場所でコーナーをつくって備蓄を促すことができないかと質問させて頂きました。他の部署になると思いますが健診の場を使ったコーナーで聞ける方だけでも聞いてもらうなど可能ではないかという意見です。

(事務局) 講習会のやり方で、現状としては町の各種イベントや防災訓練等の他に、町の子育て支援センター等で開催される子育て支援講座の中で、乳幼児に対しての災害時対応、AED取扱方法、心肺蘇生法や誤飲時対応等の講習会を実施した経緯もありますが、その他に健診の場所に出向いてできないかというのは、やり方として大切なことだと思います。危機対応だから企画政策部だけが考えることなく、関係する部課と連携してどう進められるかを詰めていきたいと思っています。

(梅村委員長) 例えば幼稚園は、町内だけでなく町外も選ぶこともできますよね。町外の幼稚園に通われている方への啓発は、現状どうされていますか。

(事業担当課) 防災講演会、研修会につきましては、町民全体に対しまして行っています。この他に茅ヶ崎と連携しまして、防災フェアをやっており、その中で防災啓発をやっております。今後は、作成したチラシやハンドブックを啓発や講習会の場で設置をしていきたいと思っています。

(太田委員) いろいろな場に分かから出向く方は割といろいろな情報をとっています。情報が届かない方は、センターやいろいろな場に出向くことがないことが多いのかなと思っています。そうであれば健診など行かざるを得ない場で、情報をお渡ししていかないと、もれてしまう人はいつももれてしまって、もらう人は何か所でももらってしまうことになるのかなと思っています。どこで接点を持つかというところは、ここでやればみんなに渡るというところを、これからに向けて選んでいただければと思います。

(事務局) ご指摘のとおりで、保育園で限定しても意味のないことだと思います。子どもに関わる場、健診などの場で広く発信していきたいことと、子育て世帯に向けた情報発信というものもありますので、そういったところに織り交ぜて備蓄についての啓発を行っていくのも重要だと思います。お子様をお持ちの方は、今SNSを活用されていることが多いと思います。情報をとりやすいメディアを通じてどう発信するか、そういったところをどう活用していくかが重要だと思います。

(西郷委員) そういう時には、何かをあげるというコーナーをつくっておいて、パンフレットなど、目に見えるかたちでつくっておいて、皆様が来たときに子ども向け備蓄食品を差し上げますとすると、順番に聞いてくださるかなと思います。

(事業担当課) 自主防災訓練や防災訓練をしていく中で、おこわなど非常用の備蓄品を配ることによってより多くの方が集まっていたことを実感しております。保育園についてもビスコを使用しましたので、引き続き行うことで参加者が増えていくと思いますので、進めて行きたいと思えます。

(大谷委員) 自治会は自主防災訓練を主催するんですが、訓練を行うときに、備蓄品は各家庭が自分で備蓄すると、自治会では備蓄しないで、助けるための資機材は備蓄しますけど、食べるものは各家庭でということが基本になっています。保育園、幼稚園の施設に保存用ビスコ3,000食を補助したようですけど、今後施設に食品を備蓄することを、施設に責任を持たすのか、町が継続的に補助していこうとしているのか。町にはいろいろな施設があると思いますけど、食料品について、行政と住民と責任をどう切り分けるかをきちんとしておかないといけないので、お考えをお聞きしたいと思えます。自主防災では、各自で責任を持つという指導をしています。

(事業担当課) 町の防災訓練や自主防災訓練では、住民の皆さんに1週間分の食糧の備蓄をお願いしています。幼児用のビスコ3,000食では備蓄用としては足りるものではございません。これについては、これをきっかけに各家庭で乳幼児に関しても備蓄をしてくださいと、防災訓練や研修の中で話をしていくという考えでございますので、各施設に今後備蓄をしていくことは考えておりません。

(梅村委員長) 他にございますか。

それでは評価にまいりたいと思えます。KPIに対する事業の評価でございますが、今回目標値を上回る実績値でありました。そうしたことから有効であったと評価してよいと思えますがいかがでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) 続きまして、内部評価に対する評価については、KPIに対して有効であったことから、現状維持となっています。これについては適当であると思えますが、今後の取り組みの中で、委員の方々から詳細な深掘りをした意見が出ておりますので、それを取り入れていただきたいと思えます。よろしいでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) 続きまして3つ目の、不育症治療費助成事業でございます。説明をお願いします。

<事業担当課から不育症治療費助成事業について概要を説明>

(梅村委員長) ご意見ご質問等ございましたらご発言をお願い致します。

(太田委員) これは、短期間にK P Iで評価する性格のものではないと思います。安心の部分で、この町に住んでいればこの制度があるということ。実際に不育症の方が制度を活用とした場合、短期間で何人だから目標を達成したという話ではなく、必要な人が現れたときに対応できるようにしておくことが重要であることからいうと、効果が有効か有効ではなかったかというのは、難しい話だと思います。制度が始まってこの短期間での状況で評価するのであれば、設定自体は間違っていないですし、そういう意味では有効であり、有効で有り続けていると思います。

(梅村委員長) 制度があること自体町にとっていいことだと思います。最近、自治体で政策をがんばっているところが、地域住民から評価されていて人口増につながっている実態があるということがあります。そういう見方を地域住民の方がされているというのも実感しております、この事業も意義があるのかなと思います。制度があること自体に意義がある事業の1つかと考えております。

他にご意見等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。

評価につきましては、K P Iに対する実績値が0でございましたが、制度そのものがあること自体が町にとって、子育て世代に対しての良いアピールになるだろうということを鑑みますと、有効であったと言えると思いますがよろしいでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) 続きまして、内部評価に対する評価も、説明のとおりだと思いますので、適当であるということによろしいでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) 続きまして地域子育て環境づくり支援事業でございます。説明をお願いします。

<事業担当課から地域子育て環境づくり支援事業について概要を説明>

(梅村委員長) ご意見ご質問等ございましたらご発言をお願い致します。

寒川町の児童クラブは学校に1つずつですか。

(事業担当課) 基本は1つずつです。南小学校については、27年度に校舎内から学校の敷地に移すときに建物は1つですが、2クラブにしました。現在小学校が5つに学童クラブが6クラブあります。

(梅村委員長) それは時間帯が違うのですか。

(事業担当課) 時間帯も全て一緒です。

(梅村委員長) 要望はありますか。

(事業担当課) 現状としては、待機児童も出てきているクラブもあるので、方向性としては求められており、人口としては減少傾向の中でも、保育園世代が1年生になった時に預けるところがなく、仕事を辞めなければいけない状況を解消していこうという国の動きもありますので、学童クラブの必要性は、これからも上がっていくものだと認識しております。

(牧戸委員) 保育園から卒園して学童に行った時に人数についてや、何年間しか行けなくてその後どうしようなどの話を聞くことも多いです。継続的な部分で、1人や同じ友達だけではなく、宿題や遊びも子ども同士だけではなく第三者の大人に関わることも大事だと思うので、この場所があるから寄ろうよというような場所があったりすると、子どもたちの選択の幅を、学童だけではなく、友達だけではなく、寄れる場所を設置している自治体があるのも聞くので、もう少し考えてあげられるのがいいのかなど。そのためには、それを名乗り上げる方々がいなければならないけれども、そういう場とかを一步踏み込んで考えてあげられると親も安心するのかなと思います。

(事業担当課) 学童クラブのお話しの中で、平成27年度からは、基本的には6年生までになりましたが、現実的には定員がある関係で下の学年の子からという状況で、上の学年の子が入れないという状況が生じているのも事実です。学童保育だけではなく、ふれあい塾という放課後の学校の体育館を開放して、登録していただいて、お子さんが一度家に帰ってから来て、そこで5時まで時間を過ごすという取り組みもしてはいますけども、スペースにも限りがあり、時間も5時までと限られているなど制約があるのも事実です。子ども同士だけではなく、いろんな年代や大人と過ごす場についての取り組みについては、行政としては今、何もできていない状況ではありますが、先ほど団体への補助金についての説明の中で、いくつかの団体から問い合わせがあったと申し上げましたが、その1つに自治会が集会所を持っているので、そこで子どもを見守るなど、自治会の中にもリタイアした人もいるのでいろいろなことができると思うので、子どもたちがいられる場所をつくれればと思っているという相談に来られた自治会もありました。そういう団体が地域にいくつかできてくると住民との協働の考え方からしても、取り組みとしては、ありがたいと思っております。

(金子委員) どういった団体があるのか具体的に教えていただけますか。

(事業担当課) 子育てに関する団体は、町としては2団体しか把握しておりません。1つは、寒川学童保育会です。もう1つは、はぐはぐという名前で、子育てに関していろいろな取り組みをしていただいている団体です。

(金子委員) その他に学校の中に学童クラブがあるのですか。

(事業担当課) 学童クラブは、寒川学童保育会が平成27年度から各学校のクラブをとりまとめて運営をしております。それまでは、各学童クラブの保護者会がクラブを運営していましたが、お子さんを預ける状況の中では、保護者の方たちも仕事を持っている中で運営に関わっていて、負担が大きいという声もあり、27年度からは、寒川学童保育会がやりますというかたちで立ち上がってきた状況です。

(大谷委員) 学童クラブをNPOにお願いしているとお話がありましたが、学童クラブに入る方の希望が多くて、受入側のスタッフが足りなくなっている。団体では集めるのに苦労している。町が立ち上げの協力だけではなく、運営の協力までしていかないと、器があっても受け入れるスタッフが足りないという話を聞いています。お任せではなくて行政としても関わっていかないとうまく運営されないのではないかと気になったお話しです。

(事業担当課) 運営を委託というかたちで学童保育会にお願いしておりますので、支援員、補助員についての雇用は、学童保育会と雇用関係が生まれまますので、広報に募集を載せたり、職業安定所に求人を出していると聞いています。学童保育会の立ち上げにあたっての補助だけではなく、運営にあたる部分についても、立ち上げるのにあたり一緒にお話を進めてきたという経緯もございますので、今でもお互い相談しておりますので、一緒に考えて動いていきたいと思っております。

(西郷委員) 指導員の雇用に関して、金額的な援助をされているというお話しですか。

(事業担当課) 委託料の中に賃金が含まれています。学童保育にお子さんを預ける保育料をいただいておりますので、町の委託料と併せて運営経費としております。

(西郷委員) 人件費の部分で、人数が足りないと学童保育に受け入れきれないということが生じるのではないかと。自治体によってやり方は違いますが、その部分ではかなりお金を投じざるをえない状況が生まれているのではないかと感じました。先ほどの自治会の方がやってくれるということが進めば素晴らしいとは思いますが、学校のリタイアした先生を再雇用で学童クラブでやっていただくにしても、ある程度の金額がないとなかなか応募してくれませんか、責任もかなり生じていて。川崎などでは、インクルーシブ、障害者なども受け入れるような学童保育をやっておられます。やはり事故などどうするかなどたくさん受け入れるほどあります。どういう形式で運営するか難しいものがあると思うんですが、小1ギャップや小4

ギャップも生じているような感じですが、そこを寸断してしまうと、働き続けられないことになり、結果としては子育て環境が劣化している町だとなりかねないので、そこは戦略的に考える必要が生じているのではないかと、皆さんの話を聞いて強く思いました。

(事務局) 担当課からご回答させていただいたところですが、それだけでは足りていないという現状も認識しておりますので、町として全体として進めていくかということが問われていることだと思います。子育て世代の方々に対する支援をより手厚くしていこうというのが、町においての総合戦略の柱ですので、いただいたご意見を踏まえまして、お金がかかるなど難しい問題もありますので、どうかたちでできるのかを考えて参りたいと思います。

(西郷委員) 兄弟がいたりすると小4・小6だと学童保育を使わないケースもあると聞くんですけど、寒川町はスポーツが盛んで、素晴らしい中央公園の施設もあるので、先ほどの選択肢の話ですけども、小4・小6向けの例えば各スポーツ団体が週3でもサッカーの日、野球の日など登録システムで、1つの特化したものではなく、自分に何が向いているかチャレンジできるようなクラブで6時までやらせてくれるようなことがあると、選択肢としていいのではないかと思います。

(梅村委員長) 他にございますか。

KPIにつきましては、目標値16%と同値でありますので有効であったということでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) 続きまして内部評価に対する評価でございます。先ほど様々な意見がございましたが、概ね内部評価に対しては適切ではないのかなと思っておりますがよろしいでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) 続きまして子どもの健康を守り育てる子育て応援事業でございます。説明をお願いします。

<事業担当課から子どもの健康を守り育てる子育て応援事業について概要を説明>

(梅村委員長) ご意見ご質問等ございましたらご発言をお願い致します。

確認ですが、歯科相談から歯科健診に変えるのですか。それに伴い予算は増えますか。

(事業担当課) 28年度から行います。60万円弱増えます。

(金子委員) 人口を増やす部分では、この取り組みは他の市町村もやられていることですか、独自には始めていることですか。

(事業担当課) 県内の状況ですと実施している団体が多く、寒川でも必要だということで実施することになりました。

(金子委員) こういった戦略は寒川だけがやっているわけではないと思うんです。寒川の魅力を出すには、他よりレベルのアップしたものを提供していかないと、人口増、転出抑制につながっていかないとしますので、予算的なものもあると思いますが、必要なものは取り入れていかないと、立ち後れてしまう気がしますので、戦略的なかたちで取り組んでいただけたらと思います。

(事務局) 子育てという部分では、目標としては出生率の向上と年少人口を増やすという点です。出生率の向上は、先ほどの共働きでも安心して子育てができる環境が整うことで出生率の向上につながるという点があると思います。また、社会保障では国全体での考え方も必要だと思います。我々としては共働きでも子育てができる環境を整えていくことが1点と、年少人口を増やすというのは、出生率の向上だけでは賄いきれないと思っています。他市町村から子どもを持つ親御さんを転入させることが重要だと考えており、1つのメニューだけで勝負してもあまり意味のないことだと思っています。子育てという部分で、寒川町を選んで、この町で産み育てていただけるように、寒川町の優位性を発信しなければならないと考えております。今は、寒川町が発信するメニューをつくっている状況でございます。これだけではなく、小児医療や不育や不妊などいろいろなメニューを揃えて、他の市町村に比べて優位性があると示して、寒川町に来ませんかと発信することが重要だと思っております。メニューとしては、完全に揃っておりませんが、対象として寒川町に転入するのは、県外からではなく近隣市町村から寒川町に転入してくるケースが多いことから、この湘南地域においてどれだけ寒川町の優位性を出せるかということで、湘南地域における寒川町の位置がどこにあるのかを皆さんにアピールをしていきたいと考えております。1つ1つを捉えるとこれでどうして出生率が増えるのかなど思われるかもしれませんが、今後1つのパッケージとして揃えて、まとめて発信していきたいと考えています。

(梅村委員長) 他にございますか。

KPIにつきましては、実績値が現状値、目標値を下回っております。そうすると有効とは言えなかったとなりますけれどもそういう評価でよいですか。

(事務局) 補足をさせて頂いてよいですか。目標値は2歳児歯科相談を受けて

3歳6か月健診でう蝕のない児の割合で出しておりますが、今回はその子たちが3歳6か月にまだなっていないため、過去5年間の平均値を記載しています。対象者に先行型でやった冊子を配るだけでは、これだけの効果しか出なかったという実情となっています。

(梅村委員長) まだ十分事業が実施されてない中での結果だということですか。そういうことからすると、有効であったとしてもよいのかなと、次のさらなる事業の結果を見た中で、検証していく必要があるということで、K P Iにつきましては、有効であったとさせて頂けたらと思いたしますがよろしいでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) 続きまして内部評価に対する評価でございます。次なる改善点が示されておりますので内部評価に対する評価は適当であると思いたすがよろしいでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) 続きまして公共交通充実事業でございます。説明をお願いします。

<事業担当課から公共交通充実事業について概要を説明>

(梅村委員長) ご意見ご質問等ございましたらご発言をお願い致します。

(伊與田委員) ルートや土日の運行について、住民ニーズを受けたというお話しですが、どうかたちでルートや運行頻度などニーズを測っているのか教えて頂けますか。

(事業担当課) 土日の運行を新たにはじめたのは、役場の事業や教室の開催が土日に多く、ニーズが有りましたので土日の運行をはじめた経緯がございます。ルート選定などについては、アンケートを取ったり、交通不便地域につきましては、駅から半径1キロ、バス停から300mの円を描いて、そこから外れている地域を把握してコミバスで運行している状況でございます。

(伊與田委員) コミュニティバスは高齢者の方など足としては非常に重要だと思うんですけど、見直しのタイミングは定期的に予定されているんですか。

(事業担当課) 現在、地域公共交通会議で学識経験者、公募の町民、運行事業者、道路管理者などが集まった会議で、利用状況や今後の方向性を決めてございます。その時に住民からのニーズを報告して決めてございます。

(梅村委員長) ここでの意見は、地域公共交通会議に届きますか。届かないと

事業に対する意見として改善に生かされないですけどいかがですか。

(事業担当課) ご意見は全て交通会議に報告させて頂きたいと考えています。

(事務局) 取り組みの改善の部分で、外部委員会からの意見を踏まえた取り組みを構築してまいりますので、所管課と企画と、具体的にいただいた意見をどのように反映させていくかをやりとりしていきますので、出していたいただいた意見は、地域公共交通会議にも報告していくと考えていただければと思います。

(西郷委員) 150円に値上げしたとありますけども、値上げ理由をお聞きしたいのと、以前の土日運行をやめた理由をお聞きしたいんですけど。

(事業担当課) 運賃改定では、コミュニティバスは平成14年度から100円でスタートしてそのままきた経過がございます。運賃改定を行った理由は、路線バスが走っているところには、コミュニティバスを走らせることではないわけです。地域間格差をなくすため路線バスの初乗り運賃の180円に近い金額に値上げをしました。その時に障害者やお子さんについては、割引料金として100円を設定しました。2点目の土日の運行をやめた経緯ですが、持続可能なコミュニティバスというコンセプトを当時持ちまして、土日を運行しますと経費が上がります。土日を運行してしまうと、平日の本数を圧縮しなければならないということも1つの理由として、土日をやることで平日の運行本数を維持する目的がございました。もう1つは、当時は土日のご家庭で誰かが送迎ができるのではないかとということから、土日運行を見合わせた経緯がございます。

(西郷委員) コミュニティバスは持続可能が重要だと思っておりまして、土日をやるやらないはニーズさえあればよろしいと思うんですけども、金額面、ルート面を含めてPDCAサイクルをどう回して、全体の設計をどうしていくのか。時がたてばニーズも変わったりするケースもあると思うんですけど、うまく設計すれば町民にとっては素晴らしいものになると思いますので、また町が活性化するというのもあると思うので、設計としての持続可能な運営をするという意味で、どうしていくのかを意識したやり方をしていただきたいと思います。

(梅村委員長) 寒川町民として利用したいと思っているんですけど、いつも利用できないんです。持続可能なことと、町民として利便性のことをPDCAサイクルを地域公共交通会議で議論されているのかなど。使えない地域公共交通はいらないと思います。それに750万円払うなんてあり得ない。それよりも使える地域公共交通であって欲しいと思っています。あと、今後の取り組みの中で、地域公共交通会議を前面に出してきて言い訳をしているのは望ましい言葉ではないと思います。寒川町としてどうするのか

が出ていないのではないのでしょうか。

(近藤副委員長) 利便性、利用率アップということで、先日懇談会で出た意見で、駅から降りてバスに乗ろうとした時に、駅の中に時刻表やルートの看板があるのでしょうかという意見があったんですが、乗ろうとした時にいつ来るのか、どのルートに乗れるのか分かれば、もう少し利用率がアップするのではないかと意見が出たんですけどどうでしょうか。

(事業担当課) 寒川駅では改札を出たところにパンフレットを大きくしたものを掲示してありますけども、倉見駅と宮山駅には掲示はしてございません。

(近藤副委員長) 掲示の予定はありませんか。

(事業担当課) 今後検討させていただきます。

1点戻って公共交通会議のところですが、全て公共交通会議に委ねるというわけではなく、公共交通会議を通すことで、例えば廃止する場合など、町として簡単にはできなく、会議の了承を得られないと退出などもできないので、前向きなところで書かしていただいたところがございます。

(梅村委員長) 他にございますか。

それでは、K P Iにつきましては、目標値を実績値が上回っておりますので有効であったということでよいのでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) 続きまして内部評価に対する評価でございます。今後地域公共交通会議も含めた中でさらに検討を行うとありますので、適切であると思えますがよろしいでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) 全ての事業の検証が終わりました。ありがとうございました。続きまして議題(2)でございます。総合戦略事業における平成28年度スケジュールについて事務局から説明をお願いします。

<事務局から総合戦略事業における平成28年度スケジュールについて概要を説明>

資料3：総合戦略 体系図

(梅村委員長) 説明が終わりました。皆様から疑問点、意見などございましたらお願いします。無ければ議題(2)は以上とさせていただきます。

○その他

	<p>(梅村委員長) 続きまして、3「その他」でございますが事務局から何かございますか。</p> <p>(事務局) 事務局から1点次回の開催予定についてお知らせさせていただきます。次回の委員会は、8月23日(火)14時から町民センター3階講義室において、開催を予定しております。予定議題としましては、総合戦略の基本目標2の中にあります、タウンセールス推進事業において進めている、定住促進に向けたプロモーション戦略の策定に向けた取り組み状況のご報告を行い、ご意見をいただく予定であります。開催通知については、追ってご通知させていただきますので、よろしく申し上げます。事務局からは以上です。</p> <p>(梅村委員長) 今日の振り返りもありますね。</p> <p>以上で本日の議事は全て終了しましたので、事務局にお返しします。</p> <p>○閉会</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1：人口減少社会の克服に向けて</p> <p>資料2：総合戦略 取り組み状況点検シート</p> <p>資料3：総合戦略 体系図</p> <p>寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定等外部委員会設置要綱</p> <p>事前確認事項等回答資料</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>梅村 仁 (平成 28 年 9 月 12 日確定)</p>